

## パネルディスカッション1

### 「潰瘍性大腸炎関連腫瘍(UCAN)の診断から治療(外科治療を含む)」

司会 石原聡一郎 (東京大学腫瘍外科・血管外科)

浦岡 俊夫 (群馬大学大学院医学系研究科

内科学講座消化器・肝臓内科学分野)

潰瘍性大腸炎長期罹患患者の増加により関連腫瘍(UCAN)への注目が近年高まっているが、同病変への早期発見や質的診断は十分満足するものではなく、同病変への治療方針の標準化も十分ではない。「炎症性腸疾患関連癌診療ガイドライン」が大腸癌研究会にて作成された結果、上記のエビデンス不足が明らかとなっている。本PDでは、IBD、内視鏡診断・治療、消化管病理、大腸外科など多方面から演題を募集し、目指すべきUCANの診断・治療について議論を行いたい。